

福山市自転車活用推進計画 【概要版】

2020年(令和2年)3月

1. 計画策定の趣旨

■ 計画策定の目的

自転車は身近で手軽な移動手段として多くの市民に親しまれています。また、近年の環境や健康に対する関心の高まりや、高齢者の運転免許証返納者の増加など市民生活を取り巻く環境の変化を受け、クリーンで機動力があり、健康的かつ経済的な自転車の魅力が見直されています。

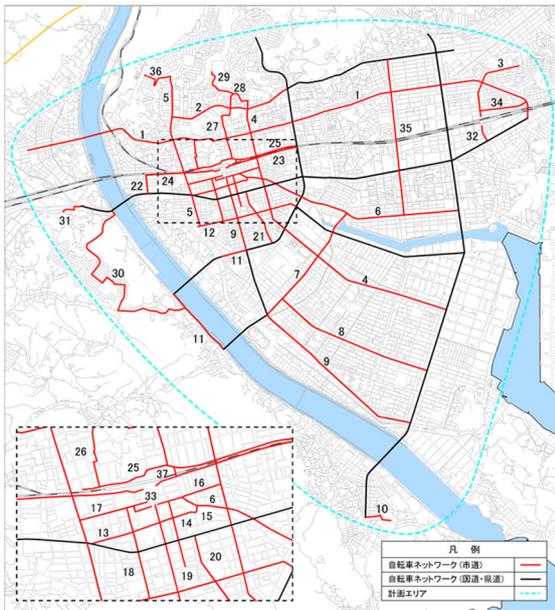
福山市においては、「持続可能なまちづくり」と「集約型都市構造」を目指しており、これらの実現に向けて自転車の活用は大きな可能性を秘めている反面、路上放置により生じる通行障害や都市景観の悪化などの問題も併せ持っています。

こうしたなか、国や広島県の自転車活用推進計画を踏まえたうえで、福山市の実情に応じ、市民に身近な乗り物である自転車の利用環境を整備し、安心・安全で快適なまちづくりのなかで自転車の利用促進を図ることを目的に「福山市自転車活用推進計画」を策定するものです。

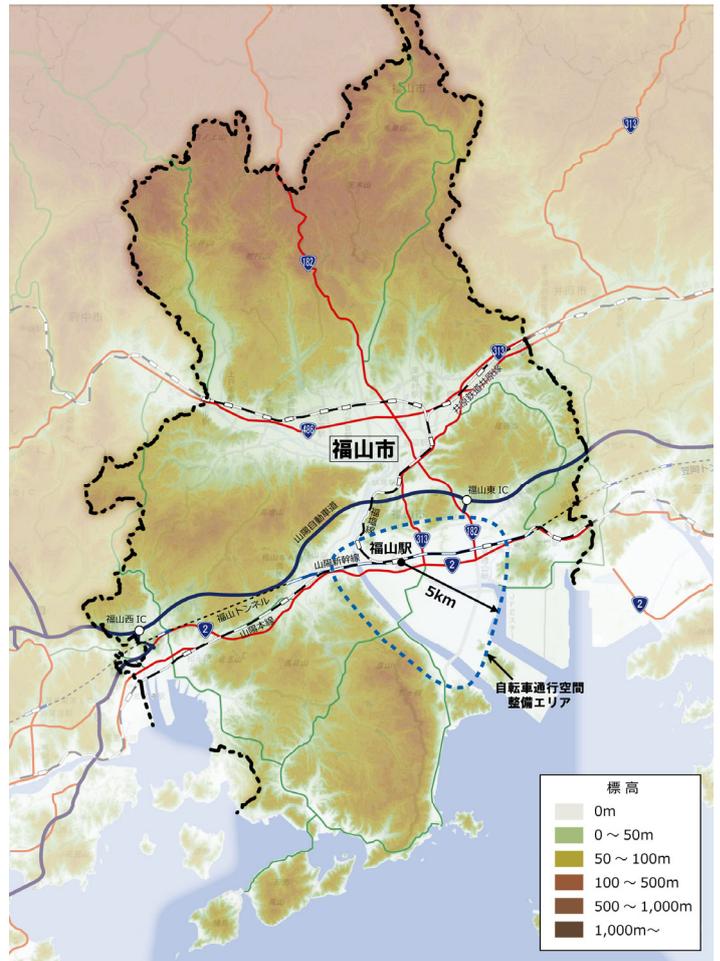
■ 対象地域

本計画は、市内全域を対象とします。

また、本計画の施策目標「安心・安全で快適に利用しやすい自転車利用環境を実現するまちづくり」のうち、自転車通行空間の整備については、「福山市道路整備計画」に基づきJR福山駅周辺に広がる平地部（JR福山駅を中心とした概ね5km圏域）を対象に取り組みます。



▲自転車通行空間整備計画対象路線



▲本計画の対象区域

※地理院タイルに行政界や道路網等を追記して掲載

■ 計画期間

計画期間は、2015年度（平成27年度）を初年度として5年を目途に取り組んできた福山市自転車利用促進プランの次期5年の取組の更新計画として、2020年度（令和2年度）を初年度として、5年を目途に取り組めます。

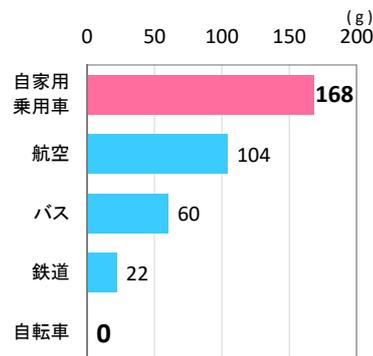
計画名 \ 年度	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	
福山市自転車活用推進計画	[Active]					[Updated Plan]					
福山市自転車利用促進プラン	[Active]					[Updated Plan]					

2. 自転車を取り巻く課題

地域の概況や自転車に関する現状を踏まえ、「まちづくり」「社会づくり」「環境づくり」「暮らしづくり」の観点で、自転車を取り巻く課題を整理します。

1) 「まちづくり」における課題

- 福山市は、降水量が少なく温暖な気候風土に恵まれ、自転車を利用しやすく、自転車の似合うまちへと環境が整いつつある
- しかし、通勤時の利用交通手段では、自動車依存傾向が強い特徴を示しており、交通渋滞も慢性的に発生している
- 一方で、JR福山駅周辺地域では集中する駐輪場の需要に対応できておらず、慢性的に放置自転車が存在している
- 恵まれた気候と、自転車の魅力を十分に活かすことができる、まちづくりの推進が必要
- また、深刻化する地球温暖化への対応という視点においても、クリーンで機動力のある自転車への利用転換を積極的に進めることが重要



▲1人を1km運ぶのに排出するCO₂

2) 「社会づくり」における課題

- 近年、健康志向の高まりにより積極的にスポーツに取り組む人が増加する一方、時間がないなどの理由で運動不足となっている人も存在
- 自転車を通勤・通学、買い物などの日常生活での移動に取り入れることで、時間がない人にとっても、習慣的な運動が可能となり、健康維持や生活習慣病の予防などに役立つ
- 日常的な自転車利用をきっかけに、サイクリングなどにも興味生まれ、イベントへの参加を通じて福山市内の風光明媚な観光スポット巡りや、潮の風などの自然を感じることで、ストレス発散にも繋がることに期待
- 自転車利用を通じて、心と身体健康増進やQOL（クオリティ オブ ライフ）の向上、ひいては、健康長寿社会の実現にも寄与するような活力ある社会づくりを行うことが重要



3) 「環境づくり」における課題

- 福山市にはシティサイクルを利用する初心者からスポーツバイクを楽しむ上級者のサイクリストまで楽しめるメリハリのある環境が整っている
- 福山市では、このような魅力を活かし観光振興につなげるため、県外からの来訪者の玄関口となるJR福山駅から鞆の浦を経て、サイクリストの聖地と称される「しまなみ海道サイクリングロード」に接続する「鞆の浦しおまち海道サイクリングロード」を設定し、整備を進めている
- 県内他地域のサイクリングロードとの連携を図りながら、サイクリストのニーズ把握を行い、自然環境の魅力だけでなく、おもてなし環境の向上に努めることにより観光振興を進めることが必要



▲しおまち海道サイクリングマップ

4) 「暮らしづくり」における課題

- 近年、自動車の安全性能の向上や、自動車運転に関する法律の整備・厳罰化などの影響により、交通事故件数は全国的に減少傾向にある
- 一方で、スポーツバイクなどスピードの出る自転車の人気が高まり、そのような自転車でマナー違反をする人により自転車が加害者となる重大事故も発生している
- 自転車を含め道路を利用するすべての人が、お互いにマナーを守り、思いやりを持って移動できる安全・安心で快適な暮らしづくりが必要
- 暮らしの中の移動手段のひとつとして自転車を利用できるよう、誰もが自然と交通規則やマナーを守り安全な利用を心掛ける雰囲気醸成が必要



3. 計画目標

■ 目指すべき将来像

人と自転車、自転車と車が共存した自転車文化や社会が実現された『自転車の似合うまち 福山』

施策目標Ⅰ 安心・安全で快適に利用しやすい自転車利用環境を実現するまちづくり

自転車・歩行者がともに安心・安全に利用できる空間づくりや、自転車の気軽さや機動性を活かすことのできる利便性の高い自転車通行空間ネットワーク整備を進め、自転車を利用しやすいまちづくりを進めます。

また、必要に応じた利便性の高い自転車駐車を整備し、放置自転車をなくす仕組みづくりを進め、誰もが快適で地球環境にも配慮したまちづくりを目指します。

施策目標Ⅱ サイクルスポーツ等を通じた健康で活力ある社会づくり

誰もが参加しやすいサイクリングイベント等の開催や、気軽に利用できるレンタサイクルの提供により、自転車に親しみ楽しめる機会を増やします。

自転車利用を通じて、適度な運動をすることで、健康の維持増進に役立て、活力ある社会づくりを目指します。

施策目標Ⅲ サイクルツーリズムの推進による観光振興に向けた環境づくり

市内に点在する観光資源を生かした魅力あるサイクリングロードの整備や情報発信を推進し、地域外からの来訪者にも対応した受入環境を整え、サイクルツーリズムによる観光振興に向けた環境づくりを目指します。

また、周辺のサイクリングロードとも連携した案内や受入態勢の整備を進め、相乗効果を生み出します。

施策目標Ⅳ 自転車事故のない安心で思いやりのある暮らしづくり

自転車利用のルールやマナーについて考えるきっかけづくりや、適切で親切な案内や情報提供など、ソフトとハードの両側から安全・安心な自転車の利用環境を育てていきます。

また、自転車を利用することのメリットや特性を知ってもらい、子どもからお年寄りまで誰もがお互いに思いやる心を身に付けることで、事故のない安心な暮らしづくりを目指します。



4. 目標達成に向けて実施すべき施策

施策目標Ⅰ 安心・安全で快適に利用しやすい自転車利用環境を実現するまちづくり

取組内容Ⅰ-1. 自転車ネットワークの整備

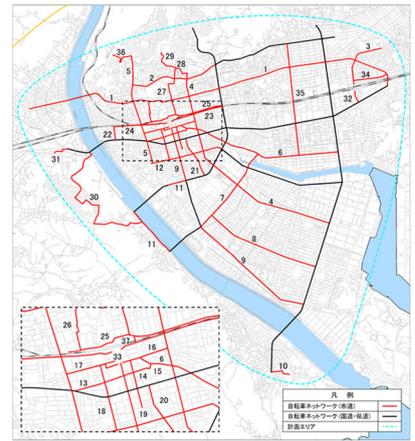
JR福山駅を中心とした概ね5km圏内において、連続性のある自転車通行空間を整備し、自転車だけでなく歩行者や自動車も安全・快適に利用できる環境整備を行います。

取組内容Ⅰ-2. 自転車の安全走行位置の案内誘導

自転車の走行位置を示し安全に自転車を利用してもらう取組として、誘導サインの設置検討、整備を進めます。

取組内容Ⅰ-3. 自転車活用PR

自転車の利用に役立つ楽しい情報等が盛り込まれた「ばらのまち福山 自転車マップ」を更新・活用し、自転車利用を促進するPRを実施します。



▲自転車通行空間整備計画対象路線
出典：福山市道路整備計画

取組内容Ⅰ-4. モビリティ・マネジメントの推進

交通渋滞の緩和や環境負荷の軽減のために有効な自転車利用を習慣化させるため、モビリティ・マネジメントを推進し、マイカー利用から自転車利用への転換を促進します。

取組内容Ⅰ-5. 適切な自転車駐車場確保のための制度検討

一定規模以上の床面積を持つ商業施設や事務所ビルなどを新築または増築する場合には、一定の台数を収容できる自転車駐車場の整備を義務付ける制度の導入を検討します。

エコ通勤 始めませんか

「エコ通勤」、まずは「月に1回」から始めませんか？
洗濯を減らせばCO₂が減って、地球温暖化防止に効果的です。

▲ベスト運動でのエコ通勤の啓発
出典：ベスト運動オフィシャルサイト

取組内容Ⅰ-6. 盗難防止・放置自転車対策

鍵掛け（二重ロック）の励行や防犯登録を促進するとともに、盗難にあった持ち主へ返還されるよう、また放置自転車が持ち主に円滑に返還できるように関係機関との連携を推進します。

取組内容Ⅰ-7. 放置自転車に対する適切な処理

歩行者や他の自転車の安心・安全な通行や良好な景観・施設環境を確保するため、放置自転車を適切に処理するとともに、有効活用に取り組みます。



▲盗難注意看板と横断幕

取組内容Ⅰ-8. レンタサイクル事業の推進

市民や来訪者等の利便性を高めるとともに、中心市街地における自動車交通量の抑制、自転車駐車場の効率化、中心市街地活性化や観光振興にもつながるレンタサイクル事業を推進します。

取組内容Ⅰ-9. 自転車と公共交通との乗り継ぎ連携

公共交通事業者と連携し、鉄道駅やバス停留所付近に駐輪スペースを確保することにより、公共交通機関と自転車との乗り継ぎ利便性の向上を図ります。

取組内容Ⅰ-10. 自転車駐車場整備

放置自転車のない、便利できれいなまちづくりのため、駐輪需要の多い地域において自転車駐車場の確保を推進します。



▲鞆の浦でのレンタサイクル

施策目標Ⅱ サイクルスポーツ等を通じた健康で活力ある社会づくり

取組内容Ⅱ-1. 自転車関連イベント等の提供

市民が参加したくなるような自転車関連イベント等を開催し、自転車を利用するきっかけづくりとなる機会を提供することで、自転車利用を促進します。



▲地元サイクリングチーム開催の乗り方教室
出典：eNShare CyclingTeam

取組内容Ⅱ-2. 健康づくり啓発

自転車利用は、CO₂の排出がなく、環境にやさしい交通手段であることに加え、身近で気軽な有酸素運動となります。健康増進の観点から自転車利用啓発を推進します。

施策目標Ⅲ サイクルツーリズムの推進による観光振興に向けた環境づくり



▲しおまち海道サイクリングロードのメインルート



▲サイクルスタンド
(道の駅多々羅しまなみ公園)

取組内容Ⅲ-1. サイクリングロードの整備・活用

市民の健康増進を図るとともに、サイクルツーリズムによる観光振興や賑わい創出につなげるために「ふくやまサイクリングロード基本計画」を推進します。

取組内容Ⅲ-2. 公共交通と自転車の連携

サイクリングロードの整備により、公共交通を利用して訪れるサイクリストの増加が予想されるため、鉄道、バスやタクシーへの自転車持ち込みについて検討します。

取組内容Ⅲ-3. 受入体制の充実

しおまち海道サイクリングロードを訪れたサイクリストから、また来たいと思ってもらえるように、サイクリストの受入サービスを充実します。

施策目標Ⅳ 自転車事故のない安心で思いやりのある暮らしづくり

取組内容Ⅳ-1. 自転車安全利用の意識向上を図る広報啓発

自転車のルールはあまり知られていない、マナーは意識されていないというのが現状であることから、道路利用者全般への安全教育・広報啓発を実施します。

取組内容Ⅳ-2. 自転車の点検整備の促進

自転車は命を預ける乗り物であり、日頃の点検・整備が欠かせません。自転車を安全に利用するための点検整備の必要性について、広報啓発を行います。

取組内容Ⅳ-3. ヘルメット着用意識の普及

自転車事故による死者のほとんどの方が頭部損傷を主因として亡くなっています。交通事故による被害を軽減するため、全ての自転車利用者にヘルメット着用の重要性を訴えるための広報啓発を実施します。

取組内容Ⅳ-4. 交通安全意識の醸成

交通事故の被害者にも加害者にもならないように、交通安全啓発を実施します。



▲福山市での自転車マナーアップキャンペーン



▲高齢運転者の交通事故防止に向けた講座

5. スケジュール

目標	事業名	2015年度~2019年度 福山市自転車利用促進プラン	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
施策 目標Ⅰ	①自転車通行空間の整備	整備推進・促進	継続実施・整備促進				
	②自転車案内誘導サイン整備	設置位置・デザイン検討	整備推進				
	③自転車マップの作成	研究・作成	情報更新・改訂	活用			
	④ベスト運動の推進	実施・促進・定着	継続実施・運動促進				
	⑤エコ通勤の推奨	実施・促進・定着	継続実施				
	⑥公用自転車の利用推進	実施・促進・定着	継続実施・利用促進				
	⑦自転車駐車場附置義務制度の検討	検討	制度検討				
	⑧看板設置・チラシの配布等啓発	実施・充実検討・展開	継続実施				
	⑨放置自転車の撤去・処理	実施	継続実施				
	⑩レンタサイクルの充実	実施・充実検討・展開	継続実施・新規事業検討				
	⑪サイクル&(ルール・バス)ライドへの対応	確保検討	整備推進・利用促進				
	⑫自転車駐車場の確保	確保検討	継続検討				
	⑬路上自転車駐車場の確保	確保検討	継続検討				
目標 施策Ⅱ	①自転車関連イベントの開催・支援	研究・開催・ 参加者拡大・定着	継続開催・支援方法検討				
	②自転車利用による健康づくり啓発	実施・促進・定着	継続実施				
施策 目標Ⅲ	①サイクリングロードの整備	研究・選定	整備促進				
	②サイクリングマップの作成	作成・ 配布	配布促進		更新検討・更新		
	③サイクリングロードを活用したイベント開催	研究・開催・ 参加者拡大・定着	継続開催・支援方法検討				
	④公共交通と自転車利用のシームレス化	実施・促進・定着	検討				
	⑤サイクリスト受入サービスの充実		継続実施・促進				
	⑥サイクリスト受入サービス提供施設の 情報提供		継続実施・促進				
施策 目標Ⅳ	①マナーアップキャンペーンの実施	実施・充実検討・展開	継続実施				
	②自転車保険への加入促進	実施・充実検討・展開	実施検討				
	③より安全な自転車の点検整備を促進する ための広報啓発		継続実施・促進				
	④ヘルメット着用の広報啓発		継続実施				
	⑤交通安全教室の開催	実施・充実検討・展開	継続実施・促進				

6. 計画の推進体制とフォローアップ

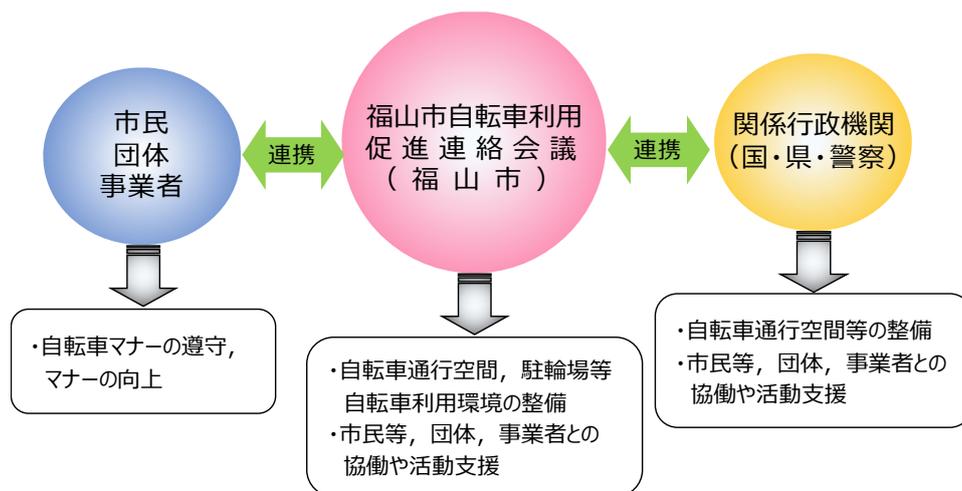
■ 計画推進の指標

目標	評価指標	現況値	目標値
施策目標Ⅰ	自転車通行空間の整備率	33%	100%※
	レンタサイクルの稼働率	102%	維持
	公用自転車の利用回数	2,628回	2,930回
施策目標Ⅱ	健康教室の開催回数	308回	維持継続
施策目標Ⅲ	大規模イベントの開催回数	1回/年	維持継続
施策目標Ⅳ	交通安全教室の実施回数	367回	維持継続
	自転車事故発生件数	381件/年	340件/年末満

※目標年次は、福山市道路整備計画の自転車通行空間整備計画に拠る

■ 計画の推進体制

計画の推進にあたっては、継続して福山市自転車利用促進連絡会議を組織し、同会議において取組の進捗状況の検証、評価、見直しを行い、市民・団体・事業者及び行政（国・県）・警察など関係行政機関と役割分担し、相互に連携を図りながら推進します。



▲計画の推進体制のイメージ

■ 計画のフォローアップ

それぞれの取組事業は、自転車の利用促進に向けてステップを踏みながら推進します。それぞれの取組における成果や課題を評価・検証し、必要に応じて見直しを行うなど、PDCAサイクルで進捗管理を行うことで、実効力のある取組とします。



▲PDCAサイクルによる進捗管理イメージ